

あそび基地



6月の「あそび基地」は、明石の大蔵海岸でBBQを開催しました。

お母さんと子ども、ボランティアの学生、スタッフを合わせて総勢32名という大人数でのBBQ大会となりました。

子どもは、一番下は3歳の幼児、一番上は中学校3年 生までとさまざまでした。

初めて会った大人にニコニコと笑いながら話しかける子どももいれば、ママの傍を離れない子どももいましたが、大勢の人々とともに食事するという機会が戻ってきて、本当に良かったと思います。

当日は薄曇りで暑すぎず、海風が心地良かったのですが、食後に砂浜で遊ぶ時になって突然の雷雨となったため、遊び足りないお子さんもいたかも知れません。

それでも、「皆と一緒にバーベキューを楽しんだ」という経験が、子どもたちの心に残ってくれることを願っています。

これからも、こういった催しを続けていきたいと思います。



新しい命の誕生をみんなワクワクして待っています!

6/14 ちいさな読書会より



『世界じゅうの女の子のための日 国際ガールズ・デーの本』出版・大月書店 ジェシカ・ハンフリーズ、ロナ・アンブローズ(文) シモーネ・シン(絵) 国際NGOプラン・インターナショナル(訳・解説)

6/19 ジェンダー講座

ウィメンズネット・こうべでは、設立30周年を記念して「ジェンダー平等社会の実現に向けて」をテーマに、5回連続の無料オンライン講座を行っています。 今回は「女性と居住貧困」で、講師は追手門学院大学の葛西リサ准教授でした。

葛西准教授は、シングルマザー向けのシェアハウスに関する論文を何本も書かれていて、最も保護が必要とされる筈の女性や子どもが、劣悪な住環境に置かれている現状を20年以上も追い続けています。

講座を受講し、県営住宅や市営住宅などの公営住宅が全住宅数の約3.6%しかないという数字に驚き、離婚前だと子持ちでも利用ができず、困窮しているのに単身世帯は対象外になっている現実には、呆気にとられるばかりでした。

また、シングルマザーや単身女性の住居費負担率が35%、37%、50%超えの人もいると知って、唖然。 平均年収がある家庭でも、「家賃は収入の25%まで」 と言われるようになった昨今ですが、年収が200万円 程度の低所得の女性たちにとって、「高い住居費」が 家計(生活費)を圧迫している現実を知りました。

男性よりも「住居難民」に陥りやすい女性の視点での支援が、喫緊の課題だと改めて感じました。

< 内容 >

2011年に制定された「国際ガールズ・デー」を記念して、世界中の人々に「ジェンダー平等と女の子の権利の大切さ」を語り合ってもらうために、異なる国に暮らす9人の女の子たちが、困難や課題を乗り越えていく姿が描かれています。

< 感想 >

「性差別やジェンダー差別は良くない」ということは、誰もが分かっていることです。 それでも差別が無くならないのは、私を含む多くの人が「無意識や無自覚の差別意識」を持っているからなのだと思います。

日本では「女の子は教育を受けられない」、「10歳そこそこで結婚させられ、妊娠出産育児を強要される」ということはありませんが、「男の子には車の玩具、女の子にはお人形」といった固定概念に縛られている人は多いのではないでしょうか。

この絵本は、まずは大人が読んで、内なる差別意識を自覚しつつ、お子さんに読み聞かせをしていただきたい一冊です。

また、ウィメンズネット・こうべでは、6月から10月にかけて「ジェンダー平等社会の実現に向けて」というテーマで、連続講座を開催しています。

一人でも多くの方のご参加をお待ちしております。

次回以降の講座のご案内

7/10(日) 「ジェンダーと暴力~子どもへの影響~ |

講師:森田ゆり氏

8/21(日) 「DV被害者支援の実態」

講師:近藤恵子氏

9/18(日) 「ジェンダーと法律」

講師:浅倉むつ子氏

10/16(日) 「ジェンダーと教育

~デートDV防止授業の必要性と実践~|

講師:山口のり子氏

視聴を希望される方は、Peatix(チケット申し込みサイト)から申し込んでください。

お申し込みはこちら!

受講料は無料です。

講座を申し込まれた方には、後日 YouTubeで視聴できるURLをお知ら せいたしますので、当日リアルタイム で視聴できない方にもお勧めです。



MAIL: wacca@mbr.nifty.com
HP: https://wacca27.wixsite.com/wacca